

## iPad を活用した活動例

報告者氏名：倉井真理子・月岡俊明 所属：長野盲学校

記録日：2013年2月14日

活動内容タイトル：「iPad を用いた人工透析中の国家試験対策学習」

活動内容の概要：対象生徒が、病院での人工透析中に、本校職員が作成したホームページ上にある国家試験対策の四択問題を、iPad を用いて文字を拡大し、解説を読んだり繰り返し学習を行ったりすることで、知識の定着を図る。

### 【対象生の情報】

- ・学年 高等部専攻科理療科3年
- ・障害 視力（右：0 左：0.06 最大視認力：0.1 左7cm）
- ・障害と困難の内容

対象生徒は月・水・金曜日の放課後～午後8時半頃まで病院にて人工透析を行っており、放課後の国家試験対策補習を十分行うことができない。また、透析中はベッドで右手を固定し寝た姿勢であることと視力の関係から、参考書等を読む学習をすることは困難である。

### 【活動目的】

- ・当初のねらい

2月末の国家試験合格を目標とし、病院における人工透析時間中に iPad を用いて行うホームページ上の練習問題と解説による学習により効率的に知識の定着を図り、実力テスト等での成績向上を目指す。

- ・実施期間 8月20日（月）～原則的に月曜日、水曜日の放課後
- ・実施者 社納龍太 倉井真理子 月岡俊明
- ・実施者と対象生の関係 情報教育係（ホームページ作成者 iPad 設定・使用法講習）、学級担任

### 【活動内容と対象生の変化】

- ・対象生の事前の状況

以前は、片手で携帯電話を用いて学習を行っていた（携帯電話で問題のホームページへアクセス→間違えた問題を画面メモで保存→あとで、間違えた問題をノートへまとめる）。画面が小さく文字の拡大にも限界があったため、見えにくさを感じながら学習に取り組んでいた。

- ・活動の具体的内容

ホームページ上の四択問題を拡大して読み、正解と思う数字を入力する。その場で正誤が音を伴って判定され同時に解説付きの解答画面に変わり、問題の解説を読むというサイクルで学習に取り組んだ。iPad は共用のため返却してしまい、いつも手元にはないので、間違えた問題やもう一度確認したい問題などを自分用のデータとして手元に残したいという要望があった。そこで、本人の携帯のアドレスを iPad の「連絡先」に登録し、間違えた問題のホームページのリンクを、iPad から自分の携帯にメールとして簡単に転送できるようにした。後日携帯



を確認してノートに書き写し、誤答集として復習をしている。

【報告者の気づきとエビデンス】

(ア) 気づき・感想

- ・文字が見やすい大きさに自由に変えられるので、とても見やすい。
- ・透析治療中のベッド上で十分な文字の大きさをもって多くの知識・情報を得ることができる。
- ・透析中、利き手ではない方で操作するようになって、操作が簡便で学習をすすめることができた。
- ・対象生は、パソコン操作が得意な生徒ではなかったが、操作をすぐ覚えて学習を続けることができた。本人からも、iPadは楽で使いやすいという感想が聞かれた。
- ・間違えた問題の集積が容易にでき、後で、誤答のみの復習をまとめてできるため効率的に学習をすすめることができた。

(イ) エビデンス（結果を実証できる数値の変化・結果等）

iPadによる学習を導入する以前の7月31日に行った模擬試験（12科目）の結果は正解率55%であったが、導入後の11月20日に行った全国模擬試験（13科目）の結果は正解率63%となった。個々の科目についても12科目中7科目で伸びを示しており、もっとも伸びを示した科目では正解率が60%も上がった。学習成果の向上の要因は、本人の努力が最も大きいと考えられるが、iPadを利用しての学習をきっかけに、自らスマートフォンを購入して学習資料作り等も行うようになり、ICT機器を活用した学習に興味関心を持つとともに、意欲的に学習に向かう手だてとしてとても有効であった。

(ウ) その他

- ・透析後は強い倦怠感が生じるため、iPadでさえ重く感じられ、持ち帰りが辛い。
- ・現在は、アンドロイドのスマートフォンを使用して学習を進めているが、iPadがとても使いやすかったのも、また、iPadを使いたいという希望を持っている。